平成２８年７月２７日

道内初、石狩川滝川地区水害タイムライン試行版が完成!!

～「石狩川滝川地区水害タイムライン試行版」完成報告、協定式及びシンポジウムの開催～

札幌開発建設部が全国でも最大規模の数となる関係機関と合同で検討してきました「石狩川滝川地区水害タイムライン」について、このたび道内で初めて試行版が完成しましたので、下記のとおり完成報告、協定式及びシンポジウムを行います。

また、当日は、昭和５６年８月洪水から３５年目に当たることから、浸水被害等に関する講演とタイムラインをどのように活かすかをテーマとしたパネルディスカッションを行います。

「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会」は、全国でも最大規模となる、国、北海道、市、地域の36の関係機関が連携し、石狩川滝川地区の大規模水災害に備えるタイムラインを策定する検討会です。

平成27年11月の第1回検討会からこれまで各機関がそれぞれの立場で「いつ、誰が、何をすべきか」について議論を重ねてきました。

このたび、道内で初めてのタイムライン試行版が完成したことから、関係機関への完成報告を行い、タイムライン試行版を検討会の松尾座長から滝川市長へ引き渡し、滝川市長・札幌開発建設部長・札幌管区気象台長による協定式を行います。

また、当日は昭和５６年８月洪水から３５年目に当たることから、当時の気象や浸水被害等に関する講演と「石狩川滝川地区水害タイムラインをどのように活かすか！！」をテーマにパネルディスカッションを行います。

記

１　日　　時　　平成２８年８月３日（水）１３時３０分　～　１７時００分

２　場　　所　　たきかわ文化センター　小ホール（滝川市新町３丁目６番４４号）

３　議事次第　　別紙のとおり

４　そ の 他　　参考１「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会概要」
　　参考２「検討会設立概要」

※注意事項
・災害など不測の事態が発生した場合は、中止することがあります。
・当日は、会場内で昭和５６年８月洪水に関するパネル展示を行います。

【問合せ先】　国土交通省　北海道開発局　札幌開発建設部
河川管理課　課　　長　秋山 泰祐　（電話番号 011-611-0340 ダイヤルイン）
河川管理課　事業専門官　源野 龍美　（電話番号 011-611-0340 ダイヤルイン）

別紙

石狩川滝川地区水害タイムライン完成報告、協定式及びシンポジウム（案）

日　　時：平成２８年８月３日（水）13:30～17:00
場　　所：たきかわ文化センター　小ホール
（滝川市新町３丁目６番４４号）
事 務 局：札幌開発建設部 河川管理課
札幌管区気象台 業務課
滝川市総務部総務課防災危機対策室

議　事　次　第

司会：滝川市　総務部　総務課防災危機対策室長　千葉　豊

【第１部】タイムライン完成報告及び協定式

13:30～14:40

１．　開会の辞

札幌開発建設部長　難波江　完三

２．　挨拶

札幌管区気象台長　　林　久美

３．　タイムライン試行版の完成報告

・タイムライン試行版の概要について

札幌開発建設部　河川管理課長　秋山　泰祐

・タイムライン試行版の運用について

札幌管区気象台　総務部　業務課長　西潟　政宣

・タイムラインへの抱負

各機関の代表者

・タイムライン試行版の引渡し

石狩川滝川地区水害タイムライン検討会　座長　松尾　一郎
滝川市長　前田　康吉

４．　タイムライン試行版の協定式

滝川市長・札幌開発建設部長・札幌管区気象台長

５．　閉会の辞

滝川市長　前田　康吉

【第２部】昭和５６年８月洪水とタイムラインに関するシンポジウム

14:50～17:00

１．　講演

・昭和５６年８月洪水の気象・降雨（仮）

気象予報士　志田　昌之

・昭和５６年８月洪水の河川・浸水被害（仮）

環境防災研究機構北海道　専務理事　黒木　幹男

２．　パネルディスカッション

・「石狩川滝川地区水害タイムラインをどのように活かすか！！」

a)コーディネーター

ＮＨＫ解説主幹　山﨑　登

b)アドバイザー

石狩川滝川地区水害タイムライン検討会　座長　松尾　一郎

c)パネリスト

・滝川市長　前田 康吉

・札幌開発建設部長　難波江 完三

・札幌管区気象台長　林 久美

・札幌テレビ放送株式会社　取締役編成局長　萬谷（ばんや） 慎太郎

参考1

検討会に設けているワーキング・グループ（WG）の編成

目標：住民及び防災対応者の確実な安全確保

住民の安全な避難

【市民安全行動G】
確実な安全確保のために住民や地域が実施すべき防災行動や行政との連携内容を検討する

側方援助

【市民安全支援G】
確実な安全確保行動（逃げ遅れ防止、要配慮者支援、避難所運営等）を行うための防災行動を検討する

情報伝達・後方支援

情報伝達・後方支援

【地域安全対策G】
市民の安全確保行動を支援するための情報提供・避難広報・避難誘導・救助を目的とした防災行動を検討する

減災・早期復旧

【交通運輸対策G】
交通途絶の影響の軽減と交通網における二次被害を防止するための防災行動について検討する

後方支援

【防災基盤対策G】
社会基盤（防災施設・ライフライン等）の浸水被害を軽減する方策と早期復旧のための事前対策を検討する

情報伝達・指示

情報伝達・指示

【防災情報・意思決定G】
行政機関が行うべき情報の発信、収集及び共有と防災行動に関する意思決定や指示を検討する

【地域沿川G】
各自治体で必要と考えられる防災行動を検討する

参考1【石狩川滝川地区水害タイムライン検討会】これまでの取組

国土交通省

第1回検討会　平成27年11月26日（木）

第1回検討会では、事前に説明したシナリオのような災害が起きた際、「どんな被害が想定されるか」、「何をすべきか」、「どんな課題があるか」の3つのテーマごとに各参加者それぞれの意見を付箋に記入し、それぞれの立場で取るべき防災行動について情報共有しました。

ワークショップ状況
参加者それぞれの意見を付箋に記入し、項目ごとに貼り出して情報共有

第2回検討会　平成28年1月21日（木）

第2回検討会では、参加機関・オブザーバーを「市民安全行動」、「市民安全支援」、「地域安全対策」、「防災情報・意思決定」、「交通運輸対策」、「防災基盤対策」、「地域沿川」の7つのグループに分け、グループごとに議論を行いました。
グループごとに、想定した水害シナリオに対する「到達目標」を整理するとともに、「到達目標」を達成するための「行動項目」、「行動細目」の抽出・順序などを検討し、成果を発表しました。

グループ討議の様子

グループ討議の成果発表

参考1【石狩川滝川地区水害タイムライン検討会】これまでの取組

国土交通省

第3回検討会　平成28年2月18日（木）

第3回検討会では、参加機関・オブザーバーを「市民安全行動」、「市民安全支援」、「地域安全対策」、「防災情報・意思決定」、「交通運輸対策」、「防災基盤対策」、「地域沿川」の7つのグループに分け、グループごとに議論を行いました。

各グループでは、第2回検討会で抽出した「行動項目・細目」の内容を確認し、不足している行動細目の追加と、各行動細目の実施時期及び所要時間の設定を行い、最後にそれらの成果を各グループのリーダーが発表しました。

松尾座長の挨拶

地域安全対策Gの議論の様子

市民安全支援Gの議論の様子

防災情報・意思決定Gの発表

第4回検討会　平成28年4月27日（水）

第4回検討会では、前回までに設定した行動項目・細目の所要時間や行動開始時期の確認に加え、各行動項目・細目の担当機関の役割設定や他機関との連携について議論を行い、最後にそれらの成果を各グループのリーダーが発表し、情報の共有を図りました。

また、4月の人事異動により新たな参加者が多かったことから、事務局からこれまでの取組について説明を行いました。

札幌管区気象台　西潟課長の挨拶

各ワークショップの様子

グループリーダーによる成果発表

参考1【石狩川滝川地区水害タイムライン検討会】これまでの取組

国土交通省

第5回検討会　平成28年6月1日（水）

第5回検討会では、第4回検討会後に作成したタイムライン一次案を基に、各項目の行動を支援・情報共有する連携機関の設定や、他グループとの連携上の課題抽出を行い、各グループで発表しました。
また、抽出された課題への対応策についても、会場全体で議論を行いました。

滝川市　中島総務部長の挨拶

各ワークショップでの議論の様子

全体での議論の様子

第6回検討会　平成28年7月6日（水）

第6回検討会では、タイムライン試行版の完成に向け、参加機関による机上演習を実施しました。
机上演習では、タイムライン素案の内容確認を参加機関全体で行い、行動細目の過不足、行動開始のきっかけとなる情報を受けてからの行動項目について、修正点などを抽出し、議論や確認を行いました。

松尾座長の挨拶

机上演習の様子

議論の様子

参考２

「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会」　設立概要

1.　設立趣旨

滝川市は、石狩川と空知川に隣接して市街地が広がり、国道 12 号、JR 函館本線や高速道路が交差する交通の要となり発展してきました。

一方、堤防や河道掘削などの河川整備が進んできたものの、近年の豪雨災害を踏まえると更なる対策が必要であり、河川改修等のハード整備に加え、河川特性や滝川市街地区の水害特性を踏まえたタイムラインを策定することが防災上、非常に有効です。

これらを踏まえて、滝川地区における関係機関が連携し、住民の生命を守るために、**先を見越した早期の災害対応**を実現する「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会」を設置することとしました。

2.　参加機関（３６機関）

陸上自衛隊、空知総合振興局、滝川警察署、滝川消防署、滝川市消防団、空知土地改良区、中空知広域水道企業団、滝川市社会福祉協議会、北海道旅客鉄道、北海道電力、日本赤十字社、NEXCO 東日本、滝川ガス、滝川市医師会、滝川建設協会、北海道中央バス、NTT 東日本、滝川市内自主防災組織（幸町第４区地区防災会・泉町連合町内会）、東滝川連合町内会、東町連合町内会、西町連合町内会、西町中央連合町内会、有明町連合町内会、扇町町内会連合協議会、大町地区町内会連合会、新町町内会連合会、本町町内会連合会、緑町連合町内会、南地区町内会連合会、江部乙防犯協会、滝川市民生委員児童委員連合協議会、エフエムなかそらち、札幌開発建設部、札幌管区気象台、滝川市（関係部署含む）

【座長】NPO 法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所　松尾副所長

【アドバイザー】日本放送協会　山﨑解説主幹
NPO 法人環境防災研究機構 北海道　黒木専務理事
気象予報士　志田昌之（元旭川地方気象台長）

【オブザーバー】北海道総務部危機対策局、北海道建設部建設政策局、中空知管内４市５町（赤平市、芦別市、歌志内市、砂川市、新十津川町、上砂川町、奈井江町、浦臼町、雨竜町）、國學院大學北海道短期大学部

3.　効果

・水防体制の見直し・改善
・関係機関の**「顔が見える関係」**の構築、連携の円滑化
・**早め早め**の防災行動の確立
・防災行動の**「漏れ・抜け・落ち」**の解消
・住民の**早期避難**
・市役所・連携機関・自主防災等が**一丸となった災害対応**の実施

4.　その他

検討会は公開にて開催し、検討結果は HP 等にて情報発信を行うこととします。